

今月のコラム

一緒に夢をかける仲間とともに

高岡伸夫(株)タカショー)



1980年に友達や家内と4人で作った自分たちの会社が、おかげさまで創業30年を経過しました。創業時は人が来ない、そしてすぐにやめる、売るものもない、お客様もない、昼間の暑い日に電話がならない・・・壊れているのかと思い電話をたたいたことも何度かありました。そうしながら、今年度、来年の新人社員の説明会には、エントリーだけですが4000人以上の方がタカショーに興味ありで登録していただきました。そして今年も約1000人近い方に就職の説明会でお話を直接させていただきました。・・・・(もう20年以上やっています)

こんなタカショーに皆様大変興味を持っていただいております。和歌山の海南という小さな市に本社があり、不思議な気がします。

そこで必ずお話しするのは、就職は世の中に貢献できる唯一の手段を得ること・・・そして自分の人格をつけられる大事な方法・・・それが就職なんですよ・・・と。そのためにしっかりいろんな会社を回られること、その会社の仕事が興味ある仕事であるか、自分をかけていくのに、その仕事がこれからの時代に役に立つ産業か会社かをよく考えて判断して決めたほうがいいですよと説明しています。

IQより、人の気持ちや心をわかるEQの指数の高い人を心がけて直接目を見て、社員さんをとっています。ガーデニングの仕事は感動産業です。また命を持った植物や自然の水や風や光や五感で受け取る感性がとても大事になります。そんなことをしている中で、とうとう20年をかけ、新人が正社員さんだけで250名の半分以上を占めるまでになりました。

会社は人、物、金の3つの要素が基本であるのはよく言われますが、ガーデニング産業はこの人の要素が非常に高い産業です。自分の評価をだけていればよかつた学生時代とは違い、社会人はすべて他人に評価され、そしてプロたるはその予想以上の感動をもって評価していかないといけない・・・。特にその責任のすべてはトップだと思います。

そんな中から、次のコンセプトを求め、いよいよこの5月1日から、タカショーは新しいシリーズの商品を出します。それは5th ROOMというコンセプト商品です。オーストラリアではガーデンは5番目の部屋と呼ばれるそうです。リビング、ダイニング、キッチン、ベッドルーム、そして5番目の部屋がガーデンです。これはあくまで暮らしの話です。室内の暮らしのそれぞれの延長線上に、5番目のそれぞれの庭の暮らしの部屋があったらという考えの商品群です。

キッチンからちょっと出て、キッチンガーデンがあったら、そしてダイニングから出て友人や家族と食事のできるオープンエリアがあったら・・・お風呂場から見てのゆったりした庭空間があつたら・・・そんな中で人やすべての心を癒すのが植物です。

この考えを、これから未来ある若い方々と、業界を通じ社会にお役に立てる会社を作り上げていかなければいけません。人を感動させる・・喜んでいただける、夢を見ることのできる空間・・・こんなすばらしい仕事がほかにあるでしょうか・・・。これがわれわれのガーデニング業界だというお話をすると、学生さんの目はきらきらし、真剣な思いがひしひしと伝わってきます。

私の創業時には、やっと買った中古車一台に乗り、一人で鹿児島から青森まで回ったころのベンチャー精神で、一緒に夢をかけてくれるそんな仲間を求めながら、この業界にそんな優秀な仲間を一人でも多く取り込むことが、私の大事な責任ではと考えています。

・・・こんな年になって、少しだけ人生がわかってきたのでしょうか・・・。
それとも年を取ってきたのか・・・

野球帽をかぶって、みんなで駐車場の整理をしたジャパンガーデニングショーの一回目のときの若かりしころが懐かしいです。そうですね、いつも人生いつも原点を忘れずですかね・・・。
第一回園芸トレードフェアに挑戦される山川さんのチャレンジ精神を尊敬します。



kaede
カエデ



花・野菜苗の情報量が大幅アップ！「ポケットラベル」エムソン企画が開発

花・野菜苗ラベルに“革命”的な新資材。有縁のマーケット・エムソン企画（兵庫県川西市、片井勝社長）は、八つ折にしたB5判のチラシが入れられる「ポケットラベル」を開発（特許出願中）、生産・卸業者向けの販売を開始した。従来のラベルは表面に商品名と写真、裏面に栽培管理のポイントが一般的だが、B5判チラシの封入によって、ユーザーに苗と一緒に持ち帰ってもらう情報量は格段に増える。特に料理レシピを付けると喜ばれる野菜苗などでは販促に効果を発揮しそうだ。



樹木医研修受講者、募集開始

(財)日本緑化センター（上島重二会長）は、5月7日～6月11日までの期間、樹木医研修受講者の募集を行う。応募資格は樹木の診断、治療等に関する業務経験が7年以上のある人で、樹木医補の場合は認定後の業務経験が1年以上必要。応募者の中から筆記試験など第1次審査で120名の研修受講者が選抜される。第2次審査で研修、面接を経て資格審査が行われた後合否が通知される。

試験は7月27日に、仙台／東京／名古屋／大阪／福岡の5会場で実施。

◆問い合わせ (財)日本緑化センター・樹木医係=TEL03(3585)3561。

GLEE視察と英国GC、HC訪問ツアー参加者募集

イギリス旅行専門の(株)ワールドブリッジ（東京都中央区）は、9月に開催される国際ガーデン＆レジャー製品見本市「GLEE」視察および英国のガーデンセンター、ホームセンターなどを訪問するツアーの参加者を募集している。

ツアーは、会場を1日半たっぷり見学することができる。現地到着から出発まで日本人ガイドが同行するため、英語の苦手な人も安心して参加可能。

日程は、9月19日（金）～24日（水）の6日間（ともに成田発着）。料金は、39万8千円。

◆問い合わせ ワールドブリッジ=TEL03(3562)7878。<http://www.world-bridge.co.jp>



あしかがフラワーパーク

樹齢140年を超える4本の大藤と四季折々の花が楽しめる「花の芸術村」。特に春は500畳敷きの藤棚を持つ4本の大藤や、長さ80Mもの白藤のトンネル、きばな藤のトンネルなど300本以上の藤が咲き誇り観るものに感動を与えます。同時にクリメツツジも見頃を迎える、5～6月には、「バラ」「クレマチス」「しゃくなげ」「花菖蒲」が見頃を迎えます。

【問合せ電話番号】0284-91-4939

【住所】〒329-4216 栃木県 足利市 迫間町607

【料金】※花の咲き具合により変動（小人は4歳から小学生まで）

通常期（ふじのはな物語期間 4/15～5/18を除く）

大人￥200～￥900、小人￥100～￥500

ふじのはな物語期間 4/15～5/18

大人￥900～￥1300、小人￥500～700



【営業時間】

通常期 9:00～18:00

ふじのはな物語期間 7:00～21:00 (17:30からライトアップ)

【定休日】無休

※重要事項 ふじのはな物語期間は4/15～5/18の予定ですが、花の先具合により変更の場合もございます。



<http://www.ashikaga.co.jp>



kaede
カエデ

2008 5 May Vol.13

NPO法人ガーデンを考える会 会報

総会記念セミナー&懇親会のご案内

【日時】2008年6月10日（火）14:10～17:00／17:10～19:00 懇親会

【会場】・セミナー 虎ノ門パストラル 8F けやき（東京都港区虎ノ門4-1-1）
・懇親会 同会場 8F しらかば

■14:10～15:30 セミナー



【講 師】

内原 智史(うちはら さとし)氏

【肩書き】

ライティングデザイナー

(有)内原智史デザイン事務所代表

【テーマ】

心に乞う、あかりのありよう。

【概 要】

光は「もの・こと」の存在を明瞭にする役割を担いながら、現実世界と創造世界の濃淡をコントロールする貴重な素材です。我々は「見える」ことが、大きな意味ととらえがちですが、見えている一面は、我々の内面に混沌としている、膨大な創造世界を開く、トリガーにすぎないのではないか？

すべてをあからさまに見せてしまうことは、最も解像度の高い状態で、情報伝達はされていますが、あくまでも平面情報にすぎません。その「あからさま」な状態から、「見えない」暗闇の段階のなかで、もう少し、我々は伝わることの意味を考えることが必要だと思います。

安全 快適 情緒的・・・都市生活や、情報ネットワークがさらに高密度していく中で、「貴い人間性」を養い、磨き続けるために確保しなくてはならない「時間」と「空間」に今、光が不可欠と言えます。

さて、今回は難しい、文言ります・・・

手短な「ひかりのレシピ」をささやかなプレゼントとしてお渡しいたします。

【プロフィール】

1958年京都出身、1982年多摩美術大学デザイン学科卒業後、(株)石井幹子デザイン事務所入所。

1995年(有)内原智史デザイン事務所設立。

光による空間プロデュースを始め、照明器具から都市景観照明のデザインを手がける。

日本照明学会会員、IESNA北米照明学会会員、IALD国際照明デザイナーズ協会会員、福島景観アドバイザー、多摩美術大学非常勤講師。

【主なプロジェクト】

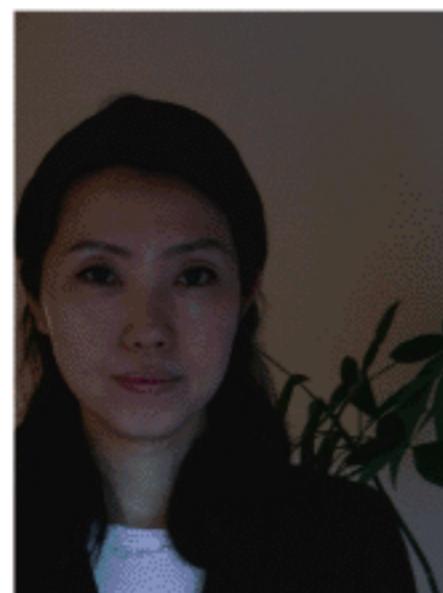
- ・うつくしま未来博、愛宕グリーンヒルズ、ラクーア、六本木ヒルズけやき坂コンプレックス、東京国際空港第二ターミナル羽田、表参道ヒルズ、芝浦アイランド、パークタワー目黒。

- ・1992年「京都光構想」を企画、1994年平等院、銀閣寺、清水寺、高台寺、1996年金閣寺、青蓮院などのライティングを手がける。

受賞歴：

北米照明学会国際照明デザイン賞 優秀賞 特別賞 ほか多数。

■15:40～17:00 セミナー



【講 師】

澤田 忍(さわだ しのぶ)氏

【肩書き】

フリーランス・エディター、ライター

(元「indoor green style」誌、「URBAN GREEN」誌 編集長)

【テーマ】

インドアグリーンの最新デザイン動向

～『インドアグリーンスタイル』誌、

『アーバングリーン』誌と2008年ミラノサローネより～

【概 要】

「インドアグリーンスタイル」(2001年創刊)と「アーバングリーン」(2007年発刊)の編集に携わる中で感じた、インドアグリーンや屋上庭園、壁面緑化などのデザインの動向について述べる。

また併せて、世界最大規模の家具見本市「ミラノサローネ」におけるインドアグリーンの最新デザインについても紹介する。「ミラノサローネ」はフィエラ会場と呼ばれる見本市会場と、ミラノ市内の家具メーカーのショールームや特設会場で行われるイベントや展示で構成され、約1週間の展示期間中にさまざまな国からバイヤーとデザイナーが訪れる。

最新インテリアデザインが集結するミラノサローネの展示会場でのグリーンのデザインとはどのようなものか、昨今注目されているアウトドアリビングに対応する最新ファニチャー類も映像にて紹介する。

【プロフィール】

大手住宅メーカー勤務後、(株)商店建築社入社。

『月刊商店建築』編集部にて編集に携わる。

2001年「indoor green style」誌創刊。

2007年春夏号まで編集長を務める。

2007年10月「URBAN GREEN」発刊。

2008年3月末にて(株)商店建築社を退社。

現在フリーランス・エディター、ライターとしてグリーン、インテリア関係の雑誌、書籍編集、執筆に携わる。





kaede カエデ

八十八夜の別れ霜

小川 浩徳（日光種苗株）

先日、「NPO法人ガーデンを考える会」の西山さんから突然メールが届きました。（もちろん、そのあとお電話もありました。）「会報『kaede』のコラムのページに書いてほしい。」とのことでした。
「私は、ガーデンを考える会の会員でもないし、私のような者が、さしこがましく割り込んでよいものか…」と思いましたが、せっかくのお話なので、書かせていただくことにしました。
悩んだあげく…お話の内容は、これにしたいと思います。

八十八夜の別れ霜

「八十八夜」ってご存知ですよね？

そう、歌がありますね。

夏も近づく八十八夜…♪♪

本当の歌の名まえは『茶摘み』。

では、「八十八夜」って、どういう意味でしょう？

それは…立春（2月4日：節分の次の日）から数えて88番目の日ということになります。

ということは、毎年5月2日頃になります。

この頃は歌のとおり新緑がまぶしく、お茶の葉っぱを摘みとる最適の時期にもなります。

ちらほら半袖姿の若者たちを見かける頃でもあり、ひととき初夏を思わせる気分になります。

しかし、ちょっと高い山にはまだ雪が残っていて、おまけに移動性高気圧のいたずら（？）により、夏近しのムードを裏切るかのように、この頃でも霜が降ります。

そんなことから、『八十八夜の別れ霜』ということわざができたようです。

「霜や寒さに弱い苗や作物を植えるときは、まだまだ油断せずに、この頃まで気をつけましょうね。」また、「これを過ぎれば温かくなっていますので、種まきや田植えをしてもだいじょうぶですよ。」というサイン（季節点）もあります。

昔の人の知恵には、感心させられますね。温暖化が進んでも大切にしたいことわざのひとつですね…。

事務局だより

ガーデンを考える会事務局

〒451-0045
名古屋市西区名駅2-25-10
ヤマエイビル4F
TEL:052-571-7911
FAX:052-571-2208
E-mail:
npgarden@green-joho.jp
URL:
<http://www.npgarden.com>

ガーデンを考える会は「全国ミニチュアガーデンコンテスト」に後援として参加しています。

(財) 淡路花博記念事業協会および兵庫県立淡路夢舞台温室「奇跡の星の植物館」は、「全国ミニチュアガーデンコンテスト」をミニチュアガーデンを通して、町並みや景観を市民レベルで考え、まちづくりまでの展開を目指して、3月から開始、09年の1月18日まで開催しています。

コンテスト作品は規模により「まちなみガーデン部門」と「ホームガーデン部門」に分けられます。応募書類提出期間は8月6日～9月6日までで、第1次審査を通過した10～20作品は奇跡の星の植物館に09年1月18日まで展示されます。

ミニチュアガーデンは小さな庭やベランダでも作れ、子どもからお年寄りまで気軽に楽しめ、また、スケールを統一して作ることで街の景観づくりにまで発展できるツールとして期待されています。

◆問い合わせ 奇跡の星の植物館=TEL 0799(74)1200